



今北ひだまり通信

No. 6 令和6年10月7日

教育相談課 村上 美春

〇〇率が日本一低い

〇〇の中に何を入れてみましたか。徳島県南端にある太平洋に面した海陽町という町があります。海陽町は日本で自殺率が最も低いことで知られています。国内で昨年1年間に自殺した人は全国で2万1837人と前の年に比べ44人減りましたが、児童・生徒の自殺者数は513人と過去最多の水準となりました。日本は自殺の多い国として知られています。ここでは海陽町からみられる自殺予防因子について、人とのつながりや空間特性について触れます。

海陽町の住民アンケートの結果、「隣人と日常的に生活面で協力している」と答えた人は少なくA町のほうが緊密な人間関係を維持していると示されていました。海陽町はあいさつ程度の付き合いをしている人の比率が高く、あっさりしたつながりを維持しているようです。アンケート項目間の影響も、その人が住むコミュニティが緊密であるほど、援助を求めることに抵抗が強まるという関係が示されました。強固な絆より、ゆるやかなコミュニティのほうが、弱音を吐きやすいということがみられます。また、うつ病がタブー視されがちなか中、海陽町は「あんたうつ病と違うん。はよ病院行き」と、様子がおかしい住民に言える風土といます。うつ病の受診率が高く、しかも軽症の段階で受診する人が多いという特徴があります。もしかしたら皆さんが相談室にたどり着くまでに気力が残っていない場合があるかもしれません。身近な人との他愛ない会話や挨拶を日々の生活で大切にしてみてください。

海陽町の街並みの特徴は密集です。海沿いの居住区では家屋が密接し、車は入れないが住民が徒歩で移動するための細い通路、つまり路地が多いです。さらにそれらの路地には、江戸時代から続く建築様式「みせ造り（折り畳める雨戸が日中は縁台として使われる）」のベンチが点在しています。買い物や墓参り、診療所への行き帰り、これらの動線上にあるベンチに通りすがりの住民らが腰かけて世間話をする様子がよく見られます。今治市中心部では開発が進み、路地や田畑が少なくなったり、公園も減ったりしています。本校でも風通りの良い校舎間や校舎内あらゆる場所に椅子やベンチが置かれてあります。補習や面談に使われるだけでなく、昼休みにお弁当を食べたり、テスト勉強をしたりという姿が見られます。ベンチの置かれる場所は情報が集まり、ちょっとした困りごとを相談しやすい空間です。ほっと一息つくときに一人でも誰とでも座ってみてください。また、通り道のごみを拾う、共用部に花を飾るなどちょっとした空間づくりをすることで誰かの未来が変わるかもしれません。

参考資料：NHK ニュース、スタンフォードイノベーションレビュー

スクールライフアドバイザー 武内 靖先生

10月の来校予定日

10月1日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火)・29日(火)



※どのような場合でも、話の内容の秘密は厳守されますので、安心して相談してください。